

家庭教育力の強化を図ろう

～ 家庭と学校、地域がつながっていく P T A 活動 ～

田原市立田原東部小学校 P T A

1 学校及び校区の概要

田原東部小学校は、田原市の中心街から東寄りに位置し、近くを通る渥美線の電車の音が、桜の並木越しにガタゴトと聞こえてくる場所にある。校区は丘陵地が多く、北側は田原湾に面している。校区人口は、現在約4000人、世帯数は約1350世帯。5つの自治会で構成されている。平成20年以降、御殿山地区に住宅街ができた頃から校区人数が増えていたが、児童数については、今後は減少が見込まれる。現在は特別支援学級2学級を含めて14学級、児童数298人の学校である。地域はコミュニティ組織がしっかり構築されており、学校教育に協力的である。

2 研究のねらい

今年度はコロナ禍の中での活動スタートとなった。P T A活動はもちろんだが、学校活動自体、思うような形で行えないことが予想された。その中で、P T A運営委員としては、保護者を代表する形で児童や学校の支援に入ったり、行事を参観したりして、機会をとらえて家庭と学校をつなぐ役割を担うべきと考えた。「笑顔があふれ、子どもが輝く学校」を目指し、「子どもたちの安全と健康を守る」ことをP T Aのテーマとして活動・支援に取り組むこととした。

3 主な活動内容

(1) 学校再開に向けて

5月の分散登校日を経て、6月からの学校再開が決まった際は、臨時P T A運営委員会を開き、学校再開に向けてのガイドラインを検討した。学校側から提案された案の説明を聞き、保護者の立場から質問や意見を述べた。学校としても、細かく見直しを図ることにつながった。

(2) 安全な生活を支える啓発活動への取り組み

ア 交通安全教室

家庭で過ごす時間が増え、自転車の乗り方は家庭でも心配しているということで、6月半ば、学校が再開して間もない時期であったが、2年生の交通安全教室が実施された。例年は保護者の多くが参観するが、今年度はP T A委員のみ参加し、子どもたちが安全に待機しているか、ルールを守って走れているかなど、児童の見守りを行った。



イ 防災教室

「自分の命は自分で守ること」「家での防災準備」など、防災について6年間学びを積み重ねていく計画になっている。学校で子どもが学ぶことにより、家庭での防災減災意識の啓発になると考えている。昨年度は、保護者が間近に活動を見たり、一緒に体験したりする活動もあったが、今年度は後方から参観し、感想を紙面で発信

することとした。「今日、非常持ち出し袋の話聞き子どもと話し合い、『どこに置こうか』『何を入れようか』などいろいろな話しました。」「市民館で災害への備えを見せてもらい、市や地域の方が私たちのためにいろいろ行っていることに気づくことができました。」など、防災・減災に向けた前向きな感想が保護者から聞かれた。

ウ 登校指導

交通安全運動期間や「0の日」に、交通量の激しい場所や信号のない横断歩道を中心に、PTA委員が分担して登校指導を行っている。キッズパトロールの方たちや職員も顔を合わせる機会であり、挨拶を交わし、一緒になって子どもたちの安全を見守っている。

エ 環境整備活動

学校の裏手、道路を挟んだ北側に学校の田畑がある。毎年、5年生がお米をつくる際、PTAが田植えを補助したり、年間を通じて草刈りなどの管理を行ったりしている。他にも、8月は全委員で校内の環境整備作業を行っている。教室の窓に飛散防止フィルムを貼る作業は毎年実施し、災害時のガラス飛散のリスクが軽減され、安全な環境づくりに役立っている。

(3) 健康な生活を支える啓発活動への取り組み

ア 『元気な体は自分でつくる～メディアと上手につきあおう！～』

子どもが家で過ごす時間が増えた中、ゲームやテレビとの上手な付き合い方を考え、実践することは、今まで以上に大事になっている。「自分のもつ時間を有効活用しようという気持ちを育てる」というねらいで取り組んだ。密を避けるため、保護者は参観せず、司会進行を行ったPTA生活安全委員が感想を保健だよりなどで発信することにした。



イ 食育『一杯のみそ汁キャンペーン』から

昨年度、学校保健委員会で「みそ汁」を取り上げた。みそ汁は、具を工夫すれば一杯で3つの栄養素が手軽にとれる食べ物である。大勢の保護者にも参加してもらい、作ったみそ汁を味わったり、子どものおにぎりづくりを手助けしてもらったりした。また、本校の栄養教諭を講師として、夏休みの「親子料理教室」もこの数年行っている。野菜をとるための工夫を家庭から募集し、『とうぶオリジナル野菜レシピ集』を2集まで発行した。今年度も毎月19日を「食育の日」とし、「3色そろった朝ごはん」を目指した取り組みを継続して行っている。「給食試食会」も例年は行っており、子どもたちの食べるものに関心をもってもらおうようにしている。

4 研究の成果と課題

新型コロナ感染症予防のため、人が集まる活動は大きな制限があったが、保護者と学校がつながって子どもたちを育てていくことに変わりはなく、参加の仕方を考えたり、PTA委員として相談をしていったりすることは重要なことだという意識を高めることができた。また、委員の参加や情報発信が、子どもたちの安全や健康を守り、家庭教育の一助になることを再認識することができた。田原東部小はコミュニティスクール計画を現在準備中である。今後は、その中で、PTA活動がより有効に機能するような方策を模索していきたい。